



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 地球 1926, 5(1)

ISSUE DATE:

1926-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183050>

RIGHT:

地球

大正十五年
六月
第五卷

地球 第五卷 總目錄 大正十五年一月—六月

圖 版

第一版	隱岐島後の粗面岩及玄武岩の風景……………	(第一號)
第二版	山城宇治附近景觀……………	(第二號)
第三版	二上火山に於ける地球學團第三回講習會見學旅行……………	(第二號)
第四版	北海道洞爺鑛山產黑鑛の顯微鏡的構造……………	(第三號)
第五版	絹笠山頂より見たる島原半島……………	(第三號)
第六版	波斯の住宅及び聚落……………	(第四號)
第七版	丹波南桑田郡の住家……………	(第四號)
第八版	土佐下部三疊紀介化石……………	(第五號)
第九版	關東山地山中地溝帶白堊紀の介化石……………	(第五號)
第十版	溫泉火山の圻裂線と熔岩丘……………	(第五號)
第十一版	北上縱谷中流部の分水線式地形圖……………	(第六號)
卷 頭	辭……………	(第一號)
科學としての地理學(上)	……………	小川 琢 治……………
科學としての地理學(下)	……………	……………
南滿洲の地震に就て……………	……………	新帶國太郎……………

淡路の海岸

隠岐島後東北海岸火山岩の風景

地球の冷却(ハロルド、デエフレエス)

イギリス便り

地理教材としての地形圖

湯澤鑛山の纖維亞鉛鑛に就て

若狹灣と北但馬及京都盆地を成す斷層の關係に就きて

宇治の景觀

カオリンの脫水現象

北樺太採集記(中)

人類の土地に及ぼす影響

洞爺鑛山黑鑛々床に就いて

庄内の砂丘

人文地理學上より觀たる日本の村落

北米合衆國の聚落について

波斯の聚落及住宅

先史聚落地理

二

小牧實繁

春本篤夫

寺田貞次

木下龜城

川井景吉

船越素一

上治寅次郎

玉貫光一

小川琢治

渡邊萬次郎

小牧實繁

小川琢治

中目覺

金原信泰

小牧實繁

四

五

五

五

二

二

三

二

三

三

一

一

二

二

二

二

二

伊豆諸島の聚落.....	辻村太郎.....	三九
男鹿半島に於ける二つの港町の特徴.....	小田内通敏.....	三八
季節と共に興廢する能登沖舩倉島の漁村.....	石井逸太郎.....	三五
武藏野臺地に於ける水と聚落との關係.....	蘆田伊人.....	三四
奈良盆地の聚落.....	西田與四郎.....	三六
京都市内に殘存せる古代の聚落.....	藤田元春.....	三〇
作州津山藩の村落移轉策.....	黒正巖.....	三三
弓ヶ濱砂嘴の地學的瞥見.....	下間忠夫.....	三九
聚落の生態に就て.....	西龜正夫.....	三四
アルプスの聚落.....	田中阿歌麿.....	三三
人文地理學上より見たる日本の都市(上).....	小川琢治.....	四〇七
土佐に於ける下部三疊紀の介化石.....	松下進.....	四〇
關東山地中地溝帶白堊紀の介化石.....	矢部長克.....	四九
南紀湯崎溫泉.....	長尾巧.....	四九
地球の化學成分について(タンマン).....	石川成章.....	四九
北上縱谷中流部に就いて.....	渡邊萬次郎.....	五五
朝鮮平安北道南市地方の部落名.....	向山武男.....	五〇

日本化石產地表(二、和歌山縣)..... 中村新太郎 五七

上越線清水隧道測量の概況..... 菅谷泰昌 五三

談 叢

阿蘭陀木綿..... 鶴岡學人 三

講 話

朝鮮地名の考説(六、七、完)..... 中村新太郎 一六

本邦に於ける造山作用、火山作用、鑛床生成の關係附 本邦鑛床の標式(上、中、下)加藤武夫..... 四六

摘 録

小澤、長門二疊石炭紀石灰岩の古生物、層序學的研究 五六

矢部、清水、天草上部白堊紀鸚鵡貝新種..... 五六

佐伯、丹波のジュラ紀三角貝新種..... 五六

脇水、犬吠岬の漣痕..... 五六

雜 報

南佛バスク農家(五卷表紙圖案說明)..... 二

京奉鐵道支線の延長..... 三

地球學國入闔者氏名(大正十四年十一月二十五日)..... 六三

四卷六號關員名簿正誤..... 六三

露西亞地質調查所近況..... 七

咸北明川の第三紀化石..... 七

土佐安藝の天然橋..... 六

讃岐屋島の雪の庭..... 六

本邦の中等海水面に就て..... 六

地中海に於ける海中活火山の現出..... 六

巴奈馬運河通過の貨物..... 六

海鼠の產地..... 六

漁場の盛衰..... 六

タンガニカ領金剛石..... 六

桑港灣七大架橋計劃..... 六

米國の自動車..... 六

世界羊毛產額..... 六

朝鮮黃海道鳳山炭坑の地質..... 七

ノルウエー人のスピツベルゲン探検	一〇九
甘珠爾廟の歳市	一四三
山西省に於ける主要炭田	一五〇
本冬の初霜	一四六
本冬の初雪	一五三
地球學團第三回講習會概報	一五四
地球學團第三回講習會二上火山見學旅行記事	一五四
文檢地理本試驗問題(四十三回)	一五五
二上火山麓柘榴石採取業	一五六
最近の鐵道開通	一五六
大正十四年十月末船舶現在	一五七
支那海中海底壑地の發見	一五七
ロカルノ會議	一六八
メーメルの解決	一六八
南阿の白金坑	一六九
日本の人造絹糸と支那	一六九
メキシコ低加州方面行	一七九
三津圖葉地形説明の誤謬	一八八
モスール問題	一九七
二號の正誤	一九八
南紀湯崎の新噴騰泉	二〇七
大正十四年外國貿易	二〇八
リベリア事情	二〇八
黑龍江及同支流間航路	二〇九

ペトロパワロフスク港	二九〇
葡領ケーブヅエルデ群島	二九〇
我國に於ける質屋の數	二九〇
貝塚鐵道	二九二
地質時代に於ける植物界の變革	二九二
魚類化石の新發見と地質時代の推定	二九三
世界の人口	二九七
兵庫縣養父郡大杉さんざゝ踊	二九九
東洋拓殖株式會社の水利開墾の近況	三〇〇
石垣島の人口減少	三〇〇
地球學團第四回講習會概報	三〇六
地球學團岡山支部近況	三〇六
朝鮮、北海道、廣島縣に落下した隕石	三〇八
大正十四年本邦重要鑛山鑛產額	三〇九
鑛泉試錐取締の新縣令	三〇九
天然に出づる含水硫酸礬土の成因	三〇九
蘇丹マクワル堰の竣工	三〇〇
江蘇省無錫の工業	三〇〇
大英帝國航空路會社	三〇一
世界最深の井戸	三〇二
五卷五號四四〇頁地圖の地名	三〇六
黑海の海洋學的研究	三〇七
極東に於ける鑛產物資源	三〇七
白耳義領コンゴ	三〇七

地球 第五卷 總目次

新刊紹介

ブラジル果	五七三
ベスグ火山の近狀	五七四
桑港貿易額(一九二五年度)	五七四
墨國石油產地(一九二五年度)	五七四
大正十三年(一九二四年)世界主要鐵產額	五七五
飛行機によるアラスカの地形調査	五七五
太陽の黒點	五七六
石油成因の一珍説	五七六
四十四回文檢地理豫備試驗問題	五七六
軌近の地震學	五七六
第四版英和和英地學字彙	五七六
日本國誌資料叢書	五七六
地形圖及地質圖解説	五七六
大正十四年七月中旬 京城附近に於ける漢江氾濫調査報文	五七六
A Geographical Introduction to History	五七六
新刊 鑛物の鑑識法と教授の實際	五七六
地球の起原と歴史	五七六
地理教材研究第七輯	五七六
都市計劃圖譜	五七六
極東民族第一卷	五七六
植物妖異考	五七六
下伊那郡地質誌	五七六
西洋又南洋	五七六

質疑應答

火田の現狀	五七一
市街地の商圏	五七一
佛國の住民	五七一
ラザオラリヤ板岩	五七一
吉林省の米作	五七一
深海の沈澱物(文檢)	五七一
地向斜(文檢)	五七一
變光星	五七一
徐州	五七一
クアラ ルンプール	五七一
イースター島	五七一
寒武利亞紀以前氷期	五七一
火成岩と水成岩(文檢)	五七一
岩石の肉眼的鑑識法(文檢)	五七一
石英斑岩、放射虫板岩、岩鹽、閃綠岩、安山岩、珪岩(文檢)	五七一
トリゴニヤ砂岩	五七一
カーロウ	五七一
埃及の獨立問題	五七一
日本の在外領事館所在地	五七一
赤峰と打箭爐	五七一
編輯便り	五七一

地球

第五卷第一號

大正十五年一月一日發兌

主要目次

圖版 第一版 隱岐島後の粗面岩及玄武岩の風景

卷頭辭

科學としての地理學(上)……………

理學博士 小川 琢 治

南滿洲の地震に就いて……………

Pa. I. 新帶國 太 郎

淡路の海岸……………

文學士 小 牧 實 繁

隱岐島後東北海岸の山岩の風景……………

春 本 篤 夫

地球の冷却……………

文學士 寺 田 貞 次

イギリス便……………

文學士 中 村 新 太 郎

地理教材としての地形圖……………

大阪市街……………

談……………

鶴 岡 學 人

阿蘭陀木綿……………

講……………

朝鮮地名の考證……………

理學士 中 村 新 太 郎

雜誌……………

新刊紹介……………

質疑應答……………

地球第四卷總目錄……………

地球第四卷總目錄……………

京 都 帝 國 大 學 內

地 球 學 團

第五卷第二號（三月號）豫告

圖版 第二版 湯澤鑛山の纖維亞鉛鑛

科學としての地理學（下）……………理學博士 小川 琢 治

湯澤鑛山の纖維亞鉛鑛に就て……………理學士 川 木 下 井 景 龜 城

若狹灣と北但馬及京都盆地を成す斷層線の關係に就きて……………船 越 素 一

日本化石產地表（二）和歌山縣……………

カオリンの脫水現象竝に固體カオリンがアルカリ土類の炭酸化合物及酸

化物に對する作用（タンマン及パー）……………

イギリス便り（四）……………文學士 寺 田 貞 次

北樺太採集記（中）……………玉 貫 光 一

地理教材としての地形圖（第十九）知多半島の南部（師崎圖葉）……………

講 話

朝鮮地名の考説（七、完）……………理學士 中 村 新 太 郎

卷頭の辭

我が『地球』は創刊後二年を経過し第三年第五卷を累ねることになった。發刊に當り我々の懷抱した希望の一部分は此の二年間に實現し得て、昨年中には二回の講習會を催し團員の集合して意見を交換し見聞を廣汎にする機會を獲た。

本年も亦た上半季に於て三月末に人文地理を主題とする講習會を開き、四月に聚落研究號を發行する豫定である。尙ほ夏季には中國の或る地區を選定して八月中に長期の實地指導會を實行し、土地そのものを精確に觀察する方針を學ぶことを試みたい。

豫ねて計畫の單行本の發行も本年度には實現して團員の希望に副ふ積りである。

大正十五年一月

地 球 學 團

地球學團第四回講習會

開催豫告

我等の地球學團は人文地理學の諸問題を學團員と共に攻究し併せて今後吾等の向ふべき方針を獲んが爲めに洛東洛西一時に花笑ひ鳥囀るの候を卜し左の人文地理學者宿を講師に聘して第四回講習會を開催する。學團員の揮つて此の攻究に馳參せられんことを望む。學團同人は計劃の初頭より多數の賛同を期待して居る。

開期 大正十五年三月二十七日(土曜)より四月一日(木曜)まで六日間。

會場 京都帝國大學內

講師

京都帝國大學教授	小川 琢治
京都帝國大學教授	石橋 五郎
神戶高等商業學校教授	田中阿歌麿
水産講習所講師	内田 寛一
京都帝國大學講師	田中 秀作
東京高等師範學校教授	藤田 元春
浦和高等學校教授	小野 鐵二
彦根高等商業學校教授	
第三高等學校教授	
大阪高等學校教授	
和歌山高等商業學校教授	
京都帝國大學講師	

講義題目及時間割は二月號に發表す。

學團員研究發表批判會 三月三十日及三十一日兩

日午後。研究發表希望の學團員は要領を十五行二十二字詰一頁以内に記して三月二十日までに地球學團に宛て前以て御送附のこと。

見學 四月一日比叡山登臨、八瀬村觀察。

講習會員數 百五十名。

申込期限 三月十五日迄に地球學團に申込むこと。

會費其の他 會費金五圓、御出席の上會期の初めに係員へ御納めのこと。猶見學の際の乗車賃(約一圓)は御自辨のこと。

宿泊所 宿泊希望の向は前以て御通知あらば宿所を定め置く、一泊中食附二圓内外。京都市上京區田中門前町四三(百萬遍西門横)村上靜宜館へ行かれると御便宜を計る。

講習會員資格 地球學團員に限る。此の際地球學團へ入團希望の方は「地球購讀費半々年分以上を地球發行所なる博多成象堂(大阪市南區大寶寺町西ノ丁二、振替大阪七參參參番)へ前納した上、地球學團へ宛て入團及び講習會參加を申込まれたい。

大正十五年一月

地球學團

地球

第五卷 第壹號

地球 第五卷 第一號

目次

圖版 第一版 隱岐島後の粗面岩及玄武岩の風景

卷頭之辭

科學としての地理學(上).....理學博士 小川 琢治 (一)

南滿洲の地震に就て.....Ph.D. 新帶國 太郎 (二)

淡路の海岸.....文學士 小牧 實繁 (四)

隱岐島後東北海岸火山岩の風景.....春 本 篤 夫 (五)

地球の冷却(ハロルド、デエフレエース).....文學士 寺 田 貞 次 (六)

イギリス便り(三).....文學士 寺 田 貞 次 (六)

地理教材としての地形圖(第十八)大阪市街.....(六)

談 叢

阿蘭陀木綿.....鶴岡 學 人 (七)

講話

朝鮮地名の考説(六)……………理學士 中村新太郎(英)

雜報

- 土佐安藝の天然橋
- 本邦の中等海水面に就て
- 巴奈馬運河通過の貨物
- 漁場の盛衰
- 桑港灣七大架橋計劃
- 世界羊毛產額
- 讃岐屋島の雪の庭
- 地中海に於ける海中活火山の現出
- 海鼠の產地
- タンガニカ領金剛石
- 米國の自動車
- 南佛バスリ農家
- 露西亞地質調査所近況
- 京奉鐵道支線の延長
- 編輯だより
- 咸北明川の第三紀化石
- 朝鮮黃海道鳳山郡鳳山炭坑の地質

新刊紹介

- 輓近の地震學
- 日本國誌資料叢書(武藏、攝津、河内、和泉)
- 大正十四年七月中旬京城附近に於ける漢江氾濫調査報文
- 地學辭彙(第四版)
- デーク及びブラウン地形圖及地質圖解説

質疑應答

- 佛國の住民
- 吉林省の米作
- ラヂオラリア板岩の成因と其世界的分布

英和地學字彙

第四版發行

四六列裝訂
金文字入全一冊紙
第四版三三〇頁
正價金參圓五拾錢
送料內地拾貳錢
遠寄費太參拾錢
滿鮮地方四十五錢

地學字彙は發行以來年々閱すること茲に十年版を重ねること三版に達し此間同僚相集まりて更に之が增補改訂を企て原稿の如き稍其緒に就きしものありしが一昨年の大震災火災の爲に其稿本は元より舊版も亦悉く烏有に歸し全く江湖の需用に應ずる能はざるに至れり今版を新にするに當り本文には比較的簡易に撰定し得べき術語數百を増加し巻尾には普通使用する地學上の分類表を添附し以て第四版として之を世に公にするに至れり之が舊版に比すれば其面目を新にせしこと夥からず一本を座右に供へられんことを敢て之を江湖に薦む。

發行所 東京地學協會

東京市神田區表神保町

東京 堂 (振替東京二七〇番)

東京市京橋區銀座三ノ一

東海 堂 (振替東京八六〇番)

東京市京橋區元數寄屋町

北隆 館 (振替東京七五〇番)

地球前號 (第四卷第六號) 要目

圖版 第八版 小坂鑛山鑛床の母岩

小坂鑛山地質概報……………理學博士 渡邊萬次郎

溫泉岳前山の山崩説を駁す……………理學士 佐藤傳藏

日本化石產地表(一)三重縣……………

地球の化學成分に就いて(ワシントン)……………

カオリンの灼熱現象に就いて(リンネ)……………

イギリス便り(二)……………文學士 寺田貞次

地理教材としての地形圖(第十七)三津(瀬戸内の一例)……………

談叢

吾妻山破裂の追憶……………工學博士 比企 忠

講話

朝鮮地名の考説(五)……………理學士 中村新太郎

地球第一卷第一號より第四卷第六號までの御注文は京都

市下京區西洞院七條南内外出版株式會社に御申込下さい

地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く、又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 一 雜誌並に圖書の刊行
 二 講演並に講習會の開催
 三 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球學讀叢として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりたい人、住所職業氏名を申込み、同時に地球學讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

注文規定

- ① 團員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は博多成家堂へ御申込下され度候
- ② 本誌の御注文代金郵税共はすべて前金にて御送り下され度候
- ③ 郵券代用にての御注文は一割増に額上候
- ④ 振替貯金にての御送金は(振替大阪七參參番、東京五貳六〇七番)博多成家堂宛に額上候
- ⑤ 前金切れの場合は(前金切の印章押捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ⑥ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送り下され度候

價定

一冊	定價金五十錢	郵税金貳錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五拾圓

大正十四年十二月廿五日印刷納本
大正十五年一月一日發行

第五卷
第一號

製複許不
載轉禁

發行所

大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番

博多成家堂

電話大阪特南壹壹七七番

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

發賣所


博多成家堂

振替(東京五貳六〇七番
大阪七參參番)

所捌賣

(東京) 東京堂
(大阪) 北隆館
(神戸) 盛文館
(京都) 寶文館
(名古屋) 共盛社
(名古屋) マガジン
川瀨書店
上田屋
參文社
川瀨進堂
大盛社

CHIKYŪ-THE GLOBE



Vol. V. No. 1.

January, 1926.

Plate I.—Scenery of the Trachyte and the Basalt in Dōgo Island, Oki Islands.

Geography as a Science (1).....	
By T. Ogawa, <i>R.H.</i>	1
<i>Earthquakes in South Manchuria</i>	
By K. Niinomy, <i>Ph. D.</i>	12
Sea-Coast of Awaji Island	
By S. Komaki, <i>B. S.</i>	44
Scenery of the Volcanic Rocks in Dōgo Island, Oki Islands	
By A. Harumoto	50
The Cooling of the Earth (Jeffreys)	55
Geographical Correspondence from	
England. (3)	
By T. Terada, <i>B. S.</i>	64
Topographical Maps recommended for Schools (18)	69
Cotton-Seed from Holland By. M. Fujita, <i>B. S.</i>	72
Place Names of Korea (6)	
By S. Nakamura, <i>R. S.</i>	76

Geographical Notes — New Books — Inquiries.

Chikyū Gakudan
Kyōto Imperial University.